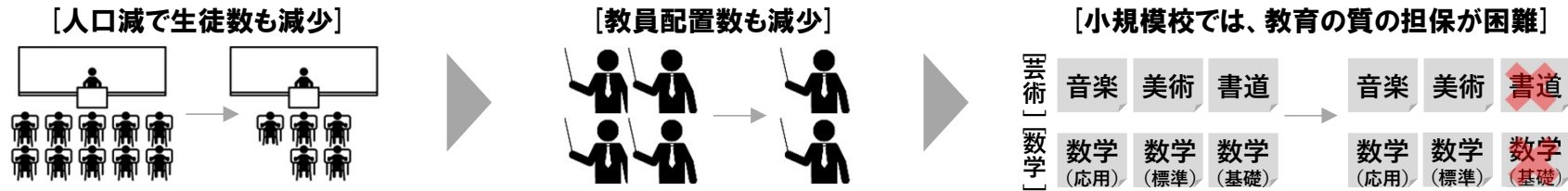


# 遠隔教育システム構築事業

## 課題・背景

- ・人口減少に伴い児童・生徒数が減少、結果として1学校当たりの教員配置数も減少
- ・教員配置数が減少すれば、開講できる科目数や習熟に応じた授業数が減少し教育の質の担保が課題

### 今後の全国的な見通し



## あるべき姿

どの**地域**においても、生徒自らの可能性を最大限に伸ばし**多様で質の高い高校教育を提供**できる環境を整備

[方向性]  
**遠隔教育システムの環境整備**

岸田首相（令和国民会議 2023.7.22）

デジタル社会への対応、これを考えていかなければなりません。…**遠隔教育**ですとか…これらをデジタルの力で乗り越える努力をしよう。

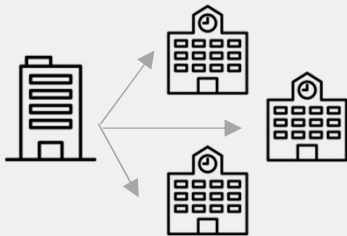
中央教育審議会 高等学校在り方ワーキンググループ（2023.7.21）※一部要約

高校は地方創生の核であり、少子化が進む地域では学校の存続が重要。都道府県が小規模校を残す際、**遠隔教育などを活用し、生徒が履修できる教科・科目等の種類を増やし、生徒の多様な興味関心や進路希望に基づく多様な学習ニーズに応える**方策を検討すべき。

## 取組概要

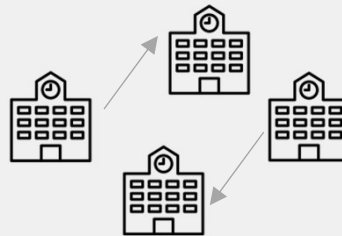
### 遠隔教育システムの環境整備案

#### [Aタイプ] 配信センター方式



大分市内の**配信センター**から地域の学校に**習熟度遠隔授業**を配信  
(実施事例：数学、英語など)

#### [Bタイプ] 学校間連携方式



**専門科目等を実施する学校**から地域の学校に**多様な科目の遠隔授業**を配信  
(実施事例：商業、福祉、環境土木など)

## 取組工程

[A：遠隔教育配信センター方式]

- ・配信センター準備室の設置
  - ・施設構築、設備環境構築
  - ・受信校がキキュム、教科書等調整
  - ・後期には試行的に授業実施
- ※習熟度遠隔授業配信（初年度：4校程度）  
※受信校・配信科目等を段階的に拡張予定

R6.4

R7.4

- ・多様な科目の遠隔配信時間数の拡充

[B：学校間連携方式]

[他県の遠隔教育の状況（補足）]

- 高知県：R2.4月配信センター開設 県内16校に配信
- 北海道：R3.4月配信センター開設 道内31校に配信
- 長崎県：配信センター設置に向けた準備室（R5設置）